



8月19日の北米濃地震は震源地がきわめて近かつたため、市内に大きな被害をあたえました。とくに上打波小池部落では、家屋の倒壊や林産物(わさび、おうれん)を作る畑地の全滅などで、今後の生活の見通しも困難な状態となりました。道路の決壊や山くずれなどがいたる所におこり、交通通信は全く断たれ孤立の状態となった同部落のため、翌20日第1回調査班が出発、さらに22日には市長、市議会議長が現地を視察すると共に第2回調査班が急行して現地で部落の人たちと懇談会をひらき今後の対策を協議しました。

現地懇談会をひらき対策を協議

北米濃地震 ヘリコプターで食糧を運ぶ

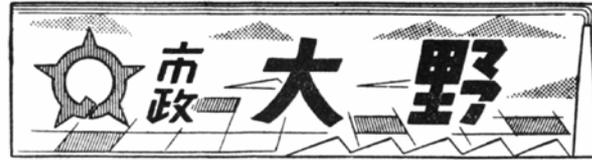


写真上は、基地有中グラウンドで米を積込むヘリコプター。下、道なき道を物資輸送の市職員。

とくに食糧はわずかしか残っていないとのことで、さつそくヘリコプターの出動を要請して、25日には米を輸送

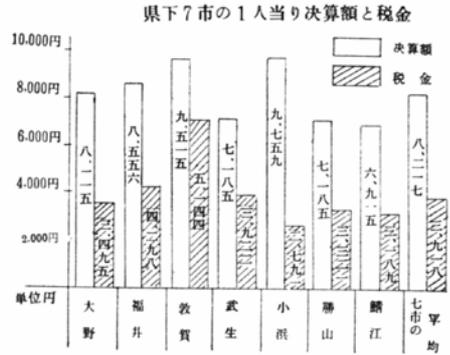
29日に第2回の輸送をおこない約3か月分の米の輸送をおおりました。21日には市議会も緊急に全員協議会をひらいて対策を協議し、25日には議員調査班が池田助役らと共に現地調査をおこない、取りあえず市として見舞金をおくりました。

発行
福井県大野市役所
電話(代)6-3600
編集
総務課広報係
印刷 松浦印刷所



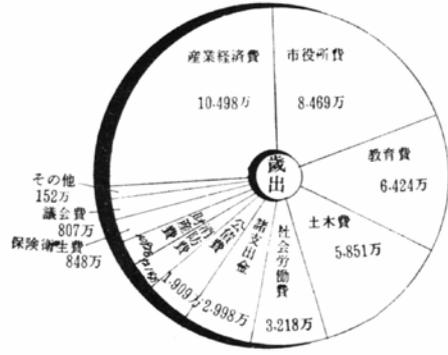
1人当り 3,495円 35年度の市の税金 県内7市では4番目

95年度中に市で使った金を、市民1人当りにしてみると8,115円で、県内7市で4番目となります。また税金では3.4

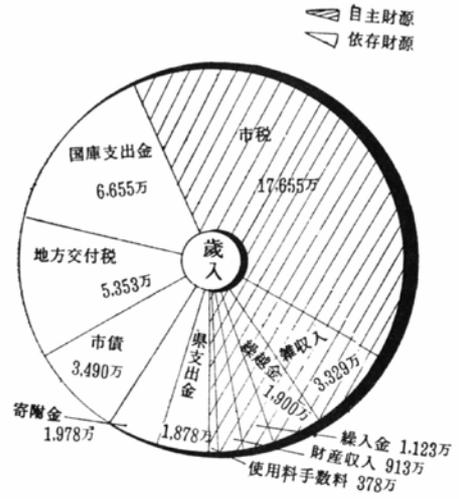


95円平均となり、これも7市では4番目となります。すなわち税金で1人当り3,495円納めていただき8,115円平均の事業をおこなつたということになります。なお県内7市の状況は左のグラフのとおりです。

一般会計歳出決算状況



一般会計歳入決算状況



昭和35年度の決算が終了しました。これによる差引519万円の黒字財政となっています。約5億に近い財政の姿はそのまま市の発展をあらわすもので市合併当初(昭和30年)の2億3,440万円に比べて2倍以上にもなっています。そのおもな内容はグラフのようです。なおくわしいことは財政公表書をごらんください。

ぞくぞく愛の救援

小池部落の人たちにつきつぎと救援の手がのべられています。きょうまでに市に届けられたお金や物資はつぎのとおりで、24日にはまだ余震の続くくずれた道を、市の職員13名が16Kmの山道をこれらの物資を背に汗を流しておくり届けました。

義 え ん 金

- | | |
|---------|-------------|
| 90,000円 | 東京都 松田大吉 |
| 10,000円 | 日赤福井支部 |
| 10,000円 | 県議会議長空羽清右エ門 |
| 6,000円 | 西谷村 |
| 5,000円 | 福井市 村田玄太郎 |
| 1,000円 | 福井市連合青年団 |
| 物 資 | |
| 毛 布 | 10 |
| 日用品 | 10組 |
| シャツ | 1 |
| 毛 布 | 11枚 |
| くつ下 | 22足 |

- | | | | |
|--|-----|------|-----|
| シャツ | 11枚 | くつ | 11足 |
| ズボン | 11枚 | タオル | 22枚 |
| 雨かつば | 10 | 長じばん | 1 |
| はかま | 下1 | | |
| 以上福井県災害救助本部 | | | |
| 清酒 | 10本 | 勝山市 | |
| なお大野市婦人会、日赤奉仕団のかたがたも義えん金集めに活躍、すでに192,455円を市福祉事務所に委託しました。この金はただちに小池中洞地区のかたがたにおくられました。 | | | |

人事異動

(9月1日付)

- 事務吏員 野崎 四郎
建設課行政係長に補する (総務課行政係長)
- 事務吏員 松原 勇
農務課長に補する (保険衛生課長)
- 事務吏員 堀永慶三郎
農務課長を免する総務課勤務を命ずる
- 技術吏員 朱雀 貞男
保険衛生課環境衛生係長に補する
- 技術吏員 石塚 一男
農夫を命ずる農場勤務を命ずる

- 建設課工務係長に補する
事務吏員 松田 稚
- 総務課行政係長に補する (保険衛生課
国民健康保険係長)
事務吏員 松本 才市
保険衛生課国民健康保険係長に補する (環境衛生係長)
- 農 夫 斎藤 幸雄
農 夫 加藤 務
技師補を命ずる
北山 喜雄
山下与兵衛
農夫を命ずる農場勤務を命ずる

商業圏を調査

(九月〜十月)

商店街の繁栄と住民の生活文化の向上をめざして、商業圏の診断を行なうための基礎調査がはじまりました。この調査では十月末までに次のようなことから調査を調べたうえで、日本商店街研究所におくられて診断され、十一月はじめにその結果によっていろいろと報告されることになっています。

- 1 商店街の立地および環境
- 2 経済団体の運営状況
- 3 商店街の交通量状況
- 4 商店街を構成する個別商店の経営実態
- 5 通行量調査日の地区別売上実態
- 6 商店街に対する顧客の買物状況調査
- 7 以上のほか関連する調査を二か月間かけて調査します。この調査を成功させるため、市民の皆さんの積極的なご協力を願ってやみません。



▲福井県のセン(仙)境でもあり白山登山ルート
の要点でもある大野市小池部落
は、さる八月十九日襲つた北米濃地震によつて全滅した。▲泰北大洞師白山開削にまつた幾多の伝説を持ち、一時は五十戸近くにも栄えた小池も、移り変わる世の波に抗しきれず年々減少してわずかに九戸となり、最後まで生活の灯を守りつづけたこの九戸の人たちすらも、永住の地、小池を捨てて移住の決意を促したのは、あまりにもか陸な地震の故である。▲のみならず、折悪しく白山山麓麓まの登山客もひたりは不備の客となり、重傷者を出した。わが国初のこの種の登山遭難史をつづけた若人たちのめいも心から祈りたい。

▲交通途絶と余震の恐怖に夜を明かした人々たちによせられた同情も、また高価なものであった。はるか山峽の雲間に救援のヘリコプターの姿を見た時、どんなに感激したかどうだろうか。慰問と激励に不遇な地区の人たちも必ず再起の念を固く誓われたことと信じる。▲それにしてはわが国地震が多い。統計によると有感地震八千回、無感地震は三千回内外で、計約五千回内外の地震がおきています。一日にすると十数回の地震がどこかで起つてはいるわけだ。▲地震のことは古来わが国には「ない」という成語があり、地震によつて地面が揺れるのを「ないふる」といつた。地震現象は古来衆人恐怖の対象であったため、絶大の関心を持つていた。しかし結果があまりにセイ徳であるために、これを科学的に探究しようとしてきたものはほとんどなく、いづれの国民もすべてこれを神意に帰した。わが国でも幾多の伝説、俗説があるが最近地震学の進歩で科学的な研究が進められていることは何より喜ばしいことだ。▲地震の予知こそ、けつぎよく地震学最後の目的であり、地震学者としては常に念頭を離れぬ問題でもある。と同時に地震に対する生活の合理化が平常なされることを望まはる。いい古き言葉だが「天災は忘れたころにやってくる」はけだし至言である。

被害は20億円をこえる

さる8月19日午後2時59分突然、大地をゆさぶつた北美濃地震は、市内いたる所に大きな被害をのこしました。

この地震は震動4、最大振幅東西56ミリ上下38ミリの横に揺れた地震で、戦後では昭和23年の福井大震災について4番目に大きな地震であったといわれます。震源地(白山附近)に近い五箇地域の被害はとくに大きく、上打波小池部落では山くずれで民家が谷底に押し流される悲惨なもので、被害総額は20億を上回るといわれています。市関係のおもな被害はつぎのようです。

林務関係 4,868万円
林道のこわれた箇所84カ所、3,970万円(みの又33カ所で1,700万円、嵐17

カ所で600万円、谷山16カ所で600万円、亥向谷16カ所で400万円、湯の谷2カ所で70万円)

林産物、林業施設、1,498円。(わさび畑1.8ヘクタール360万、おうれん畑6ヘクタール270万、木材6,440立方メートル690万、索道その他178万)

農地関係 412万5千円
あぜなどのこわれたものは77カ所で295万4千円(上打波46カ所、嵐18カ所、上庄7カ所、阪谷5カ所) 農業施設のこわれたもの14カ所、177万1千円(水路は五箇で5カ所、小山3カ所、農道は4カ所)

市道関係17カ所 256万円
(下打波嵐嶺5カ所75万、桜久保中洞



写真上は、全壊した合掌さんの住宅。石、県道崩落、打波間の地割れ。

嶺6カ所110万、その他6カ所81万 家屋の全壊および大、中破したの12戸(小池部落) 全壊 合掌喜代松 △大破 和歌次松、武内広、山田継司

山腰高男、加藤喜之助、和歌そめ。 △中破 加藤助蔵、加藤出蔵。(中洞) 田川子太郎、大谷きよ。鳩が湯



大野一福井間 即時通話開通 森広市長らが記念通話

電話局庁舎の新築とともに8月19日から市内の電話は自動式に切替えられました。またこれまで1時間以上もか

かることがあつた大野一福井間の電話が即時通話となり、この開通記念式が8月12日午前11時から行なわれました。局長から経過の概要が説明され、森広市長から市民の宿望が達せられ、大野の産業、文化の発展に大きく寄与することになると感謝の辞がのべられ、このあと森広市長や玉村商工会議所会頭らによつて記念通話が行なわれました。

電報電話局 庁舎が完成

昨年3月竣工以来完成を急いでいた電報電話局の新庁舎は、このほどつばにできあがり、8月22日有終西校で落成式を行ないました。総工費2億9,689万1千円を費やし1年5ヵ月かかつて完成、建坪2,926.19平方メートル、機械室と交換室は冷暖房装置も施されています。また機械室には温度調整装置もなされ、職員厚生施設も完備したすばらしいものです。



新しい電話番号

市役所の電話番号が次のようにかわりました

- 市役所 代表 6-9600
- 転機出張所 6-2501
- 小山出張所 6-2468
- 下庄出張所 6-2142
- 上庄出張所 6-4001
- 富田出張所 6-4101
- 教育委員会 6-2105
- 富田診療所 6-4109
- 消防署 6-2509

ツベルクリン反応とBCG

接種実施日程表

9月7日	1~3時	ツ反	上庄小学校
"	1~2時	ツ反	木の本分校
9日	1~3時	判定	上庄小学校
"	1~2時	判定	木の本分校
19日	1~2時	ツ反	五条分枝
"	1~2時	ツ反	庄林分校
14日	1~3時	ツ反	下庄小学校
"	1~3時	ツ反	富田小学校
15日	1~2時	判定	五条分枝
"	1~2時	判定	庄林分校
16日	1~3時	判定	下庄小学校
"	1~3時	判定	富田小学校
18日	1~2時	ツ反	藤生小学校
19日	1~3時	ツ反	阪谷小学校
20日	1~2時	判定	藤生小学校

のむ 経口生ワクチン

5,890人が投与を受ける

夏から秋にかけて発生しやすい小児マヒの予防にそなえて、7月末から8月にかけて、経口(飲む)生ワクチンの無料投与を各地区で行いました。この生ワクチン投与は、生後3ヵ月から小学校3年生までの乳幼児を対象に行なつたもので市内6,900人の該当者に対して5,890人が投与を受けられ、小児マヒに対して父母の関心が高いことがうかがわれます。この子供に付きそや母の表情も明るく、これで安心といつ



た感じでした。この生ワクチンは、今まで行つていたソーワクチン(予防注射)が3回以上続けなければその免疫効果が少ないといわれるのに対して、1回でその効果があるといわれます。(写真は生ワクチンを受ける児童)

小池部落から 移住を陳情

26日小池部落の代表は今後の対策について陳情のため市役所をおとすれました。同部落ではこれまで主としてわさび、おうれんなどを作つて収入源としていましたが、今度の地震でこれらの畑が全滅し復旧の見通しも困難で、今後の生活が不安なため平たんに移住したい希望をもち、このための生業資金や移住先のあつせんなどについて市の援助をお願いしたいと陳情されました。

9月1日から市金庫の取扱いは大野 信用金庫になりました。

老人の日をむかえて

9月15日は「老人の日」です。昔光明皇后が不幸な老人や病人を救うために悲田院をつくられた日にちなんで、毎年9月15日を中央社会福祉協議会で老人の日とさだめ、つづく一週間は老人週間としたものです。この日を中心にして毎年青年団や婦人会などの手によって敬老会が催されます。

市長が米寿をお祝い

市内で今年米寿を迎える方は18名あります。15日にはこれらの方を市長が訪問して長寿のお祝いと記念品をおくりました。なお米寿をむかえられる方は次のとおりです。
篠座上、松浦志ゆん。旭西、山内きくよ。四番下、松田すき。曙、中村

自在かぎ

扇おどり

源平の戦いに破れた平家の武士達の一部は、追手の軍勢からのがれるべく、人里遠くはなれた辺境の地へ落ちていった。民謡として余りにも有名な「扇おどり」も、平家の落人達が土着の村人達に伝えてから800年、盆おどりとしておどり続けられてきたと言われている。すげ笠をかむり、輪を

つくり、白い扇をひらめかせておどるのだが、見る人の心の中に、普通の盆おどりと違つた気品と、7月くれば翼でさえもくだるおれらも行くややおやどとへホーイホーイとうたわれるメロデーに、栄華の夢や望郷の念やるかたなき落人たちの哀愁がはのかにたたきだようのである。



芳。荒井町、清水徳松。中津川、明石い。下麻生島、村中すき。上野林磯右エ門。七坂、中兼り。藤生大原おみ。友兼、杉本イツ。医王寺、田中きみ。中堀、羽生忍夫。木ノ木、山田たつ。上若生子、広沢みか。中島いと。和光園、宝木いと。盛田きん。

家具建具展示会

第4回福井県家具・建具・塗装展示会は8月25、26日、有終西校講堂でおこなわれました。この展示会には県下各地から500点余りが出品され、大きな講堂一ぱいに陳列され、いろいろと趣向をこらしての作品に多くの人がたがと見とれていました。(写真は展示会場の一部)



調理師の講習会

(10月4日-6日) 申込は9月21-30日まで

旧福井県調理師条例による免許証を調理法による免許証に切りかえるため講習会がひらかれます。本講習会は今回が最後で受講しない場合は旧条例の免許証は本年11月8日で効力を失います。旧条例による免許をお持ちの方はぜひ受講して下さい。詳しいことは保健所へお問い合わせください。

陸海空

自衛官募集

応募資格 身心共に強健で11月1日現在で満18歳以上25歳未満の者
受付期間 9月1日-10月30日
試験期日 10月30日
受験場所 大野保健所
志願手続 市役所総務課、または、各出張所に志願票がありますから、所要事項を記入して提出してください。なお詳細について問い合わせは市の総務課へどうぞ。

職業案内

- 【男子】市内
機械卸売店 計理事務員1人 10,000~20,000円
- 文房具卸売店 店員2人 15~25才 7,000~8,000円
- 金物小売業 店員1人 15~20才 6,000円
- 製材所製材工2人 10,000~15,000円
- 旅客運送会社 車掌2人 15~20才 6,700~7,200円
- 林業所 三輪運転手1人 住込 15,000円
- 建設業 四輪運転手1人 ~40才 住込 15,000~18,000円
- クリーニング店 見習2人 ~25才 6,000円
- 鋳物製造所 工員5人 6,500~15,000円
- 電気工事業 電工5人 ~25才 8,000~15,000円
- 自転車修理業 修理見習工2人 ~20才 5,000~6,000円
- 【女子】市内
製材所 事務員1人 ~20才 6,000円
- 食品小売店 事務員1人 6,000~7,000円
- 生命保険会社 事務員1人 ~20才 6,000円
- 建設業 事務員1人 ~45才 7,000~8,000円
- 金物小売店 店員1人 ~20才 5,000円